

毬がつかたい (昭和幼年唱歌第二輯)

土川五郎振

前奏 1 2 …… 左右の手交るゝ毬をつくこゝ三回

3 4 …… 右手にて大きくつき乍ら四回にて正面さなる

一、わたしは …… 両手にて毬を持ち體前に出し少しく左へまはして左より毬をのぞく

まりが …… 右へまはし右よりのぞく

つかたいな …… 左手腰にし右手腕を右横腹につけ手先を少しく出して小さく球をつくこゝ三回 (頭を少しく左前に傾けて

おほきな …… 両手に毬を持ち左足少しく左へ毬を左上にあけて見る

ごむまり …… 體前下方より右上にあけて見る

しろい …… 左足を引き上體を前に傾け両手を左右に開き毬を落して見る如くす「い」にて拍手す

ま り …… 體前より毬を受くる如くす

まつかなおはなを …… 左手に毬を受けて前に出し右食指にてさしつゝ四歩前進す

かいたまり …… 両手にて毬を持ち前後に動かして後退す三回

トントントントン …… 右向きをなし両手にて交互に毬をつきつゝ四歩前進す

つかたい …… 二回拍手す

な …… 両手を頭上に丸くあげ上體を十分前に屈し左足をあげ左腕の下より左前方をのぞく

後奏 5 6 …… 足踏しつゝ兩手交互に毬をつくこゝ八回

7 8 …… 右手にて大きくつきつゝ、右廻り四回にて正面ミなる

二「わたしはまりがつかたいな…第一ミ同じ

おゑんでついても…… かがみ右手にて小さく軽くつくこゝ八回

はづむ…… 右手にて大きく強くつきて立つ

ま り…… 立ちて尙ほ一回大きく強くつく

おにはてついても…… 左右兩手交互につきつつ右に廻り正面ミなる

はづむまり…… 正面にて二回大きくつく

トントントントン…… 左向き兩手交互につきつゝ、前進四歩

つきたい…… 二回拍手

な…… 兩手を頭上に丸くあげ上體を前に傾け右足をあげ右腕の下より右前をのぞく

後奏 5 6 …… 兩手にて交互につくこゝ八回「7 8」ハ第一の歌のもの故にこゝに用ゐず

9 10 …… 右手にて毬をつきつゝ、右廻り四回

11 …… 兩手にて交互に四回つく

12 …… 同じくつきつゝ、前進四歩

13 …… 左足一步引く時右手にてつき手の甲に受ける時右足を引きつける

又後半節にて同じく左足を引く時右手にて一回つく

14 …… 前半にて左足一步左へ上體を左に傾け後半にて兩手を體前より左上に上て毬を受くる如くす、顔は右上に向く

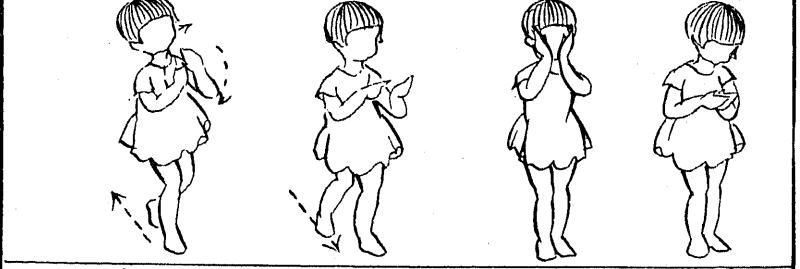
がりま はしたわ (-) 4 3 2 1 奏前



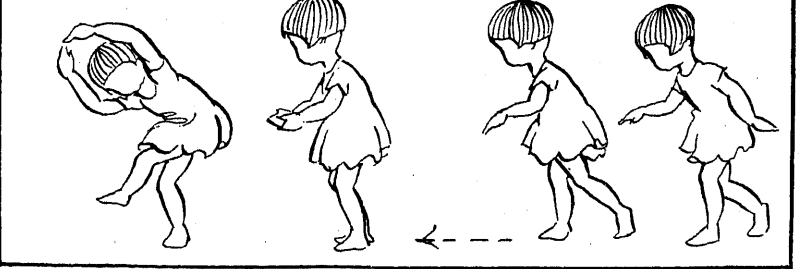
ろし リまむご なきほお ないたきつ



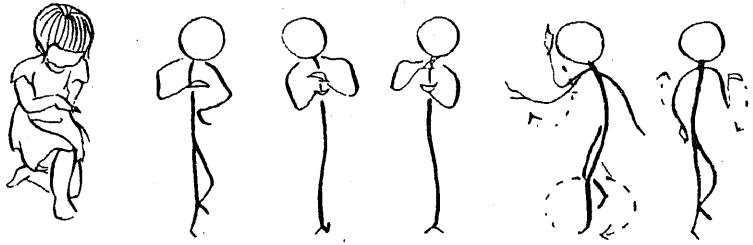
リまたいか をなほおなかつま リま い



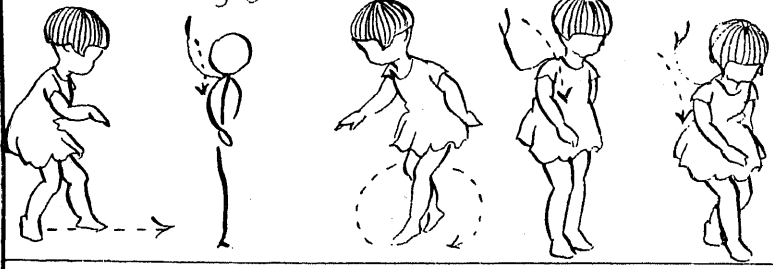
な いたきつ ントント ント



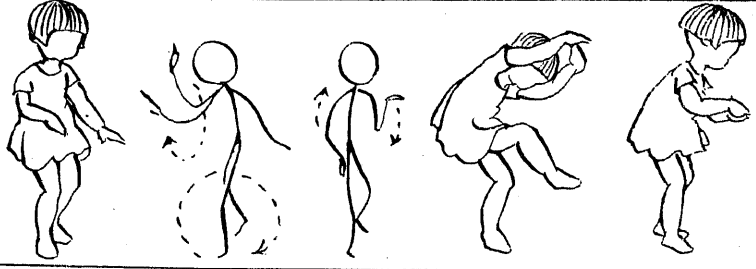
でんゑおないたきつがしまはしたわ(=) 87 65奏後
 もていつ



ントント ぶづは であにお りま むずは
 リマ—もていつ



11 10 9 65 奏後 な いたきつ



14 13 12

